

カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社タナカサトル技術支援

B. 組織マネジメント

組織力強化

現場社員のための組織行動力向上

コースのねらい

企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見、業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 企業組織と生産活動	(1) 企業を取り巻く問題と生産性向上 人手不足・物価高騰・働き方改革対応など、企業をとりまく問題と、生産性向上による解決の流れを学ぶ。	0.5
		(2) 従業員への期待と現実 従業員が期待されることと自身の考えとの間には大きなギャップが生じやすい。どのように考え生産性向上につなげていくかを考える。	0.5
	2 状況変化に対応する現場力	(1) 主体性の発揮 主体的に社内の問題発見、業務改善を行っていくためには、主体性の発揮が必要でありそれは指示をされても出すのは難しい。コーチング要素やワーク・事例を通して、自身がどのように考え主体性を成長させていけるのか学ぶ。	0.5
(2) 業務の可視化・数値化 業務改善を行っていても、人には「盲点」があり問題をとらえきれていないことがかなり多い。「盲点」の中の問題を見つける方法として、業務の可視化・数値化について事例を基に学ぶ。		0.5	
(3) 問題構造図による真の原因の抽出【演習あり】 グループワークを通して問題の抽出～具体策計画までを体験し習得する。問題の対策が短絡的であると効果がでなかったり再発したりとなるため、論理的・多面的に捉える方法を学ぶ。また、その中で聞くこと、話すこと、共感、気付きなども体感する。		2.5	
3 フォロワーシップと組織行動力	(1) 自立的なフォロワーシップとは ただ言うことを聞くだけのやらされ仕事をするとモチベーションが下がる一方で成果も上げにくい。自身のやりがいを持ち組織に貢献するフォロワーシップについて学ぶ。	0.5	
	(2) 組織行動力を向上するポイント 組織として業務改善を行う際に気を付けるポイント・考え方を失敗事例・成功事例などから学ぶ。	1.0	
	合計時間	6.0	